北海道教育委員会
令和4年11月

インターネット上の情報は全て正しいわけではありません

■なぜインターネットには、うそやまちがった情報がたくさんあるのか

インターネットは、自分の名前を出さずに、だれでも好きなように情報を書きこむことができます。インターネットでは、情報を書きこむ前に、その情報が正しいかどうかチェックする人はいませんので、情報がまちがっていても、そのまま公開されてしまいます。そのため、インターネット上には、うそやまちがった情報がたくさん公開されているのです。

■情報の正しさを確にんせずに広めてしまうと…

インターネットに書きこまれたまちがった情報をしっかり確にんしないで広めてしまったことで、トラブルになることがあります。

インターネットに書きこまれた、まちがった情報が広まり、大きな問題となった例

ある事件の犯人を特定したという情報がインターネットに書きこまれ、名前や顔写真が公開されました。

書きこみを見た人たちは、その犯人をゆるせないという気持ちから、インターネット上で情報を広めていきました。

実は名前を書かれた人は、事件と関係ありませんでした。しかし、ネット上でずっと犯人あつかいされ、悪口を書き続けられたのです。

インターネット上の正しいかどうかわからない情報は、絶対に広めないようにしましょう。情報の正しさを確にんするときは、新聞やテレビ、本などからも情報を集めてみてください。

◎本資料は北海道教育委員会の委託を受けてポールトゥウィン株式会社が令和4年11月に作成したものです。